

## 「かわら版」制作を通じたまちの魅力発掘・発信に関する研究

政策・メディア研究科修士課程1年 大西 未希

### ー研究目的

加藤文俊研究室では、人びとの集う「場所(グッド・プレイス)」をテーマに研究を進めている。今回は東京都三宅村でのフィールドワークの一環として、申請者を中心に学部二年生六名とまちの人々へのインタビューやイベントの取材を元にかわら版『あしたばん』を発行する。このプロジェクトを通じ地域のリサーチのみではなく、三宅島の魅力をまちに還す仕組みの実践研究とした。

### ー研究内容

研究室で実践している、「キャンプ」と呼ばれる取り組みの一環として、東京都三宅島でのフィールドワークを通じたかわら版を発行し、あたらしいコミュニケーションのかたちを探る。期間中に二号のかわら版発行を行った。

「キャンプ」では、人びとの暮らしや生活を理解するための「しかた」（調査・学習・表現に関わるさまざまな考え方・道具・実践）をデザインし、実際にフィールドに出かけて、その有用性を試し、まちに成果を「還す」ことを目的としている。

今回はその方法として、フィールドワークを通じたかわら版の発行を行うことを設定した。伊豆七島のひとつ、三宅島で過ごす人々からの自然とともに生きる「知恵」、「まなび」を、かわら版として文字に起こし発信することで、島の人々の間にメディアを介した新しいコミュニケーションが生まれるプロセスの観測を実践した。具体的なスケジュールと内容は以下の通りである。

2011年12月2日 「あしたばん」18号 取材、記事執筆、割り付け、発行

・東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室「三宅島大学」ワークショップ「ポスターをつくろう」講座取材、記事執筆（一名）

・東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室「三宅島大学」ワークショップ「クッキーをつくろう」講座準備取材、記事執筆（一名）

・三宅村フィールドワークを通じたエッセイの執筆（二名）

2011年12月3日～4日 「あしたばん」19号取材、記事執筆

・東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室「三宅島大学」ワークショップ「クッキーをつくろう」講座取材、記事執筆（一名）

